



放射線治療中の服装

□ 患者さんが感じる不便さには

「治療のための印で下着が汚れる」
「治療のための印が見えない服しか着られない」
「放射線があたった皮膚がヒリヒリする」
などがあります

□ 原因と対処方法

放射線治療では、正しい位置に正しい線量があたるのが重要となります。印は、治療時の位置合わせに大変重要な役割を果たします。治療期間中は、印が消えないように注意して過ごす必要があります。

放射線は、がんにあてて治療するとき、皮膚を通りぬけます。そのため、放射線をあてた部位の皮膚が日焼けした時のように赤くなったり、かゆくなったりすることがあります。放射線をあてている部位の皮膚は、**刺激しない**ことが大切です。

□ 生活の工夫

- ・ **治療のための印（マーキング）は大切に！**
消さないように気を付けましょう。
治療中は汚れてもいい衣類を使用しましょう。
下着は、白地のものより黒地のものを選択すると、印の色移りが目立ちません。
- ・ **首のあたりに放射線をあてている場合**
服の襟で皮膚がこすれやすいので、襟のない服にしたり、シルクのスカーフで襟元を保護するとよいでしょう。
- ・ **放射線をあてている部位を圧迫しない**
ゆったりした服や下着を選びましょう。
柔らかく、肌ざわりのよい素材がよいでしょう。
- ・ **陰部のあたりに放射線をあてている場合**
下着による圧迫やこすれを避けるために、大きめの下着をゆったり着用しましょう。
ジーンズなどの硬い素材が当たるのも避けた方がよいでしょう。